

ジュンヨル・チョイ
元国際会長
ライオンズクラブ国際財団理事長

ジュンヨル・チョイ（韓国・釜山）は、2019年7月5日から7月9日にかけてイタリアのミラノで開催された第102回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の国際会長に選出された。その後も、国際理事会の決議により、2021年6月29日まで国際会長を2期務めた。2021年6月29日をもって、2022年6月30日までライオンズクラブ国際財団理事長を務める。

1977年に釜山第一ライオンズクラブに入会して以来、クラブ会長、キャビネット幹事、地区ガバナー、国際理事など、数多くの役職を歴任。DGEグループリーダーも複数回務めたほか、国際理事会でも11の委員会でメンバーを務めてきた。これに加え、2000年の第39回OSEALフォーラムでは委員長、ライオンズ史上最大の大会となった2012年の第95回釜山ライオンズクラブ国際大会ではホスト委員長を引き受けた。

国際協会への貢献が認められ、チョイ元会長はこれまでに、人道支援パートナー賞、シニアマスターキー賞、100%地区ガバナー賞、複数の会長リーダーシップ・アワード、複数の国際会長賞、さらに国際協会から会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞など、多くのアワードを受賞している。累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンズでの活動に加え、チョイ元会長は国際貿易会社コアラ商事の最高経営責任者であり、釜山広域市体育会の元理事。

スンボク夫人とのあいだには一男四女と、二人の孫がいる。